

Topic

国立民族共生公園体験交流ホールの設計概要 ～アイヌ文化の体験・交流の場～

営繕整備課

国立民族共生公園は、自然と共生してきたアイヌ文化を尊重し、国内外から訪れる多様な来園者の理解を促進するとともに、豊かな自然を活用した憩いの場の形成等を通じ、将来へ向けてアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展につなげるための公園的な土地利用の実現を図ることを基本理念としています。

体験交流ホールは、自然環境等を活かしながらアイヌ文化の多様な要素を一般の人々が体験・交流する体験型のフィールドミュージアムの拠点施設として整備しています。

<施設整備の基本方針>

■周辺景観との調和を考慮した施設

- ・ポロトや周辺の山並みと呼応する柔らかなシルエット
- ・緩やかな曲線からなる公園計画に馴染むデザイン



※本イメージ図は設計段階における案であり、変更の可能性がある。

■ステージ及びホールを中心に広がる「交流の輪」をイメージした円形のデザイン



- 公演を通じて演舞者と観客の「顔の見える交流」ができ、一体感を感じられるホール
- 伝統的コタン及びポロト湖畔を借景として活用できる借景窓をステージ背面に設置



国立民族共生公園及び体験交流ホールは、2020年4月のオープンを目指し工事を進めています。

■建物概要

| | |
|---------|--|
| 建設場所 | 白老郡白老町若草町（民族共生象徴空間内） |
| 敷地面積 | 約18,600㎡ |
| 延べ面積 | 約1,650㎡ |
| 構造・規模 | 鉄骨造 2階建 |
| 企画・設計監修 | 北海道開発局営繕部 |
| 基本・実施設計 | 国立民族共生公園体験交流ホール（仮称）新営設計業務 アトリエブंक・総合設備計画設計共同体 |

民族共生象徴空間

ポータルサイト

<https://ainu-upopoy.jp/>